

委員会活動をお知らせします

《総務常任委員会》

- ・7月28日に委員会を開催し、『北斗市地域公共交通計画に関する調査』を行い、この事業は国の補助事業となるのか、実証運行に向けての周知方法について、運行系統図は自治会や町内会の意見を反映しているのかなどの質疑応答を行いました。
- ・9月15日に第3回定例会で付託された、条例の一部改正（4件）の審査を行い、『北斗市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正』については、公職選挙法にて定める選挙運動用ビラの頒布できる枚数の確認、選挙運動用ビラの製作単価の考え方について、従来から配布している選挙公報は継続するのかなど、『北斗市個人情報保護条例の一部改正』については、改正による変更点について、『北斗市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正』については、改正により対象者がマイナンバーカードを所有することが義務付けられるようなことが起きないのか、マイナンバーカードを所有していないことにより不利益が生じるようなことはないのか、『北斗市健康センター条例の一部改正』については、指定管理者制度を導入後の自動販売機の取り扱いについての質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



総務常任委員会の様子

《文教厚生常任委員会》

- ・7月13日に委員会を開催し、『コロナ禍における学校教育環境に関する調査』を行い、コロナ禍における学校運営については、部活動の練習制限について、学校内での感染対策物の具体的な配置場所について、小・中学校の修学旅行の行先はどのように決めているのかなど、ICT教育の取り組みについては、オンラインシステム（ZOOM）を使って上磯中学校の授業風景を視察し、校長・教頭との意見交換を行い、各家庭における通信環境の整備状況について、タブレットを使った授業のメリットについてなどの質疑応答を行いました。



文教厚生常任委員会の様子

《産業建設常任委員会》

- ・7月29日に委員会を開催し、『建設関係の入札に関する調査』、『漁場環境整備事業に関する調査』を行い、『建設関係の入札に関する調査』については、工事成績評定の点数は誰が付けるのか、地域貢献評価数値の具体的な内容についてなど、『漁場環境整備事業に関する調査』については、品目ごとの漁業者数について、漁業者1人当たりの漁獲高について、養殖の検討など漁組はどのように考えているのか、漁組に支出している補助金の使途、漁組職員の体制強化についてなどの質疑応答を行いました。
- ・9月16日に第3回定例会で付託された、条例の一部改正（1件）、都市公園を設置すべき区域の決定（1件）の審査を行い、『北斗市営駐車場条例の一部改正』については、日常的に平面駐車場を利用している人数を把握しているのか、定期券・回数券を発行する場所はどこか、料金規定の考え方についてなど、『都市公園を設置すべき区域の決定』については、公園の



産業建設常任委員会の様子



拡充箇所の確認、拡充地域にある排水の整備について、再整備時に野球場の配置変更やフェンスのかさ上げなどの予定はあるのか、公園の管理状況についてなどの質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。

《議会運営委員会》

- ・7月12日に委員会を開催し、議会だより(No67)の監修、「議会だよりの見直し」について協議しました。
- ・7月26日に委員会を開催し、第4回臨時会の議会運営(会期日程等)に関する協議を行い、会期を8月3日の1日としました。
- ・8月30日に委員会を開催し、第3回定例会の議会運営(会期日程等)に関する協議を行い、会期を9月7日から22日までの16日間としました。
その後、「議会だよりの見直し」について協議をしました。
- ・9月7日に委員会を開催し、第3回定例会の議会運営(追加議件)に関する協議ののち、本会議へ提案する意見書の趣旨説明を提出者から受けました。



議会運営委員会の様子

《決算審査特別委員会》

- 令和2年度決算審査のため、議長と監査委員を除く議員20名の特別委員会を設置しました。
- ・9月8日に第1回委員会を開催し、正副委員長(委員長:秋田厚也、副委員長:白戸昭司)を互選し、日程を9月10日、13日、14日、21日の4日間としました。
 - ・9月10日に第2回委員会を開催し、一般会計歳出の細目質疑を行いました。
 - ・9月13日に第3回委員会を開催し、前日に引き続き、一般会計歳出の細目質疑を行いました。
 - ・9月14日に第4回委員会を開催し、一般会計歳入の細目質疑、各特別会計決算質疑、水道事業会計及び下水道事業会計決算質疑を行いました。
 - ・9月21日に第5回委員会を開催し、総括質疑を行い、採決の結果、すべての会計について原案のとおり認定すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。

《北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会》

- ・9月22日に委員会を開催し、副市長、担当部課長の出席、鉄道・運輸機構の工事次長、課長及び所長を参考人として招致し、村山地区受入地においてセレン濃度が地下水環境基準を超過した原因と対策について、鉄道・運輸機構から説明を受けました。

原因については、超過した観測箇所である堰堤付近のくぼ地に雨水や雪解け水が対策土に触れ流下し、水の一部は蒸発等で失われるが、水に含まれる重金属はほとんどが蒸発しないため、少しずつ濃縮され、濃度が上昇し、集中的に地下に浸透したことによりセレン濃度が非常に上昇したと推定されています。

対策については、滞水の除去、観測頻度を増やしてモニタリングを実施、滞水を抑制するために対策土に触れた雨水が流入しないように、盛土して堰堤を設置、盛土の各段や地盤上に濁水流出を防止する目的で小堰堤を設置、堰堤付近のくぼ地に水がたまらないように無対策土を用いて埋め戻すことにより滞水に含まれる重金属等の濃度が上昇し地下に浸透することがないようにするとの説明を受けました。

なぜ、最初から堰堤などを造って対策ができなかったのか、原地盤活用が本当に有効な方法なのか、柳沢地区を仮置き場としているが最終的な処分地を決定する時期のめどについてなどの質疑応答を行いました。



北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会の様子

《議会ICT化に関する調査特別委員会》

- ・近年、パソコンやスマートフォン、タブレット端末に代表されるICTが著しく進化し、社会情勢も大きく変化してきており、議会ICT化については、災害時の連絡ツールなど緊急時にも活用され、議会の委員会のオンライン会議による開催などによりスムーズな議会運営を推進し、市政を停滞させないためのツールとして全国的にも進められています。また、ICTを活用し、議会運営のさらなる効率化や、効果的な情報発信など、どのような取り組みが可能となり、どのような効果が得られるのか、北斗市議会としての今後の方向性について調査研究に取り組む必要があると考え、第3回定例会において特別委員会を設置しました。
- ・9月22日に第1回委員会を開催し、正副委員長の互選を行い、今後の委員会の進め方について協議しました。

特別委員氏名				(◎委員長 ○副委員長)
◎高村 智	○栃木 正則	伊藤 洋平	佐々木 亮	
吉田 直樹	玉森 大樹	白石 勝士		

その他の会議など（市議会）

■会派代表者会議

- ・9月7日、北斗市役所で開かれ、市長からの追加提出予定案件、決算審査特別委員会正副委員長の互選、議員提出案件について協議しました。

■全員協議会

- ・9月8日、北斗市役所で開かれ、閉会中における正副議長の公務活動、一部事務組合議会・広域連合議会の概要、常任委員会の所管事務調査・特別委員会調査の概要について報告され、北斗市議会運営基準に関する内規等の一部改正について協議しました。

一部事務組合・広域連合議会の動き

■南渡島消防事務組合議会

- ・9月3日、令和3年第2回定例会が南渡島消防事務組合消防本部で開かれ、令和3年度一般会計補正予算、令和2年度一般会計決算認定が審議され、可決・認定されました。

議会からのお知らせ

議員定数が22人から20人に変わります

～議員提案で定数を2人削減し、次回の一般選挙から適用～

議会改革の推進に関する調査特別委員会において、人口が減少している本市の現状や平成29年度に市議会議員の議員報酬の改定を審議した際の北斗市特別職報酬等審議会による意見を踏まえ、北海道内の他市の状況などを基に議論を重ねた結果、定数を減じる必要があるとの結論に至ったことから、議員発議により現在の議員定数22人を2人削減し、新たな定数を20人とするために北斗市議会議員定数条例の一部改正を今定例会で可決しました。

新たな定数は、当市議会において実質的な審査機関を担う委員会の構成への影響、若い世代や女性の議会への参画しやすい環境の確保などを考慮し、大幅な減数ではなく現状の定数から2人減じた20人としました。

